

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		土地改良事業						予算事業名		土地改良事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 等				
			06	01	06	1101	経常経費						
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 特色ある農業の振興と活性化 農村環境の保全						事業の区分	主要事業					
							担当課係等	農政課 農地整備係					
	事業期間		継続 (平成19年度～ 年度)										
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
農業用施設等が適切に機能するよう、地域組織等が行う多面的機能を支える活動や維持管理、改修工事に対して、費用の負担軽減を図る。西仁連川の堰の改修を行うことにより、農業用水を安定的に供給するとともに、溢水被害を防止し、生産性の向上を図っていく。							西仁連川に設置されている堰は、大正時代から昭和初期の築造であり老朽化が進んでいることや、昨今の異常気象(集中豪雨)等により、護岸部が崩壊し堤防決壊のおそれがあるため、未改修の5箇所(の堰について、基本的には下流の堰から、順次改修を行うことにした。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
(二国堰改修事業) 西仁連川は複数の土地改良区受益地であることから、茨城県、栃木県、小山市や地元土地改良区と、改修箇所や時期、負担・管理方法等を協議し、改修堰ごとに事業化している。また、当該事業については、小山市との連携事業として実施し、二国堰改修事業は結城市が事務局となって行っている。 (山川沼湛水防除事業) 山川沼地区の湛水を防ぐため、県営湛水防除事業山川沼2期地区において、事業費の地元負担分(結城市、八千代町)を負担する。 (多面的機能支払交付金) 地域組織が行う除草等の農地維持活動、水路の補修や景観形成等の資源向上活動に対して、補助金を交付する。 (土地改良補助金) 土地改良区が実施する農業用施設の改修事業に対し、市土地改良補助金交付要項に基づき補助金を交付する。							土地改良区等の用排水施設管理者 改修する堰下流の受益者(江川土地改良区(の管理部分) 農業者等で構成される活動組織						
【令和 7年度 事業内容】							【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】		
(負担金)山川沼地区県営湛水防除事業負担金、山川沼排水機場維持管理負担金、県営土地改良事業計画調査費負担金 (補助金)多面的機能支払交付金、維持管理適正化事業補助金 西仁連川既設堰水利権実施設計委託料							(負担金)山川沼排水機場維持管理負担金、 県営土地改良事業計画調査費負担金 (補助金)多面的機能支払交付金、維持管理適正化事業補助金				(負担金)山川沼排水機場維持管理管理負担金、 (補助金)多面的機能支払交付金、		
■事業費													
			R05年度		R06年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	37,763	36,147						
	地		方		債	7,200	20,800						
	そ		の		他	0	516						
	一		般	財	源	22,750	23,535						
歳 入 計 (千 円)			67,713		80,998								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)								
	10	需用費	0		200								
	12	委託料	0		2,860								
	15	原材料費	902		493								
	18	負担金補助及び交付金	66,811		77,445								
歳 出 計 (千 円) (A)			67,713		80,998								
伸 び 率 (%)					19.61								
備 考	総合計画85ページ 予算書132ページ												

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	多面的機能支払交付金 施設の長寿命化のために活動する組織	組織数	目標	3.00	2.00	3.00
			実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	(多面的機能支払) 認定面積	h a	目標	889.71	765.00	765.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	用水機場等の農業用施設の改修には多額の費用を要するため、国や県も補助金を支給しており、安定した農業経営を支援するためにも、市が費用の一部を補助することは必要である。また、農村地域の高齢化・非農家化が進む中、共同活動への支援は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	施設の維持管理や改修工事は管理する各団体が行っている。地域組織が主体的に計画し、実践している。
	手段の妥当性	A 妥当である	市多面的機能支払い交付金交付要項や市土地改良事業補助金交付要項、改良区との協定に基づき、申請から交付まで行っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	土地改良団体はあらかじめ改修について事業計画を立てて申請するため、補助金等の把握が比較的容易である。また、多面的機能支払交付金においては不用額が発生した場合は返還する制度となっている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	改修工事においては管理団体も一定割合の事業費を負担している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	適切な維持管理や改修工事を行うことで、農業用施設の機能が保たれ、農業経営の安定化が図られている。また、活動主体が主体的に計画し実践することで地域コミュニティーの形成が促進されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	管理団体が計画的に施設の改修を行うことで、農業用施設の長寿命化が図られている。多面的機能支払交付金においては活動計画が終了する団体があることから活動区域や認定面積が減少傾向にある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
土地改良事業等で設置された農業水利施設は軒並み老朽化が進み、今後改修が必要な施設が増加してくる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
円滑に農業水利施設の改修が実施できるよう、各団体と事業の実施計画について調整を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 多面的機能支払交付金について、今後も活動に対し交付金の適切な活用を促すと共に、地域資源の適切な保全管理を促進していく。 各団体が実施する補助事業が円滑に実施できるよう、調整を図っていく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり